

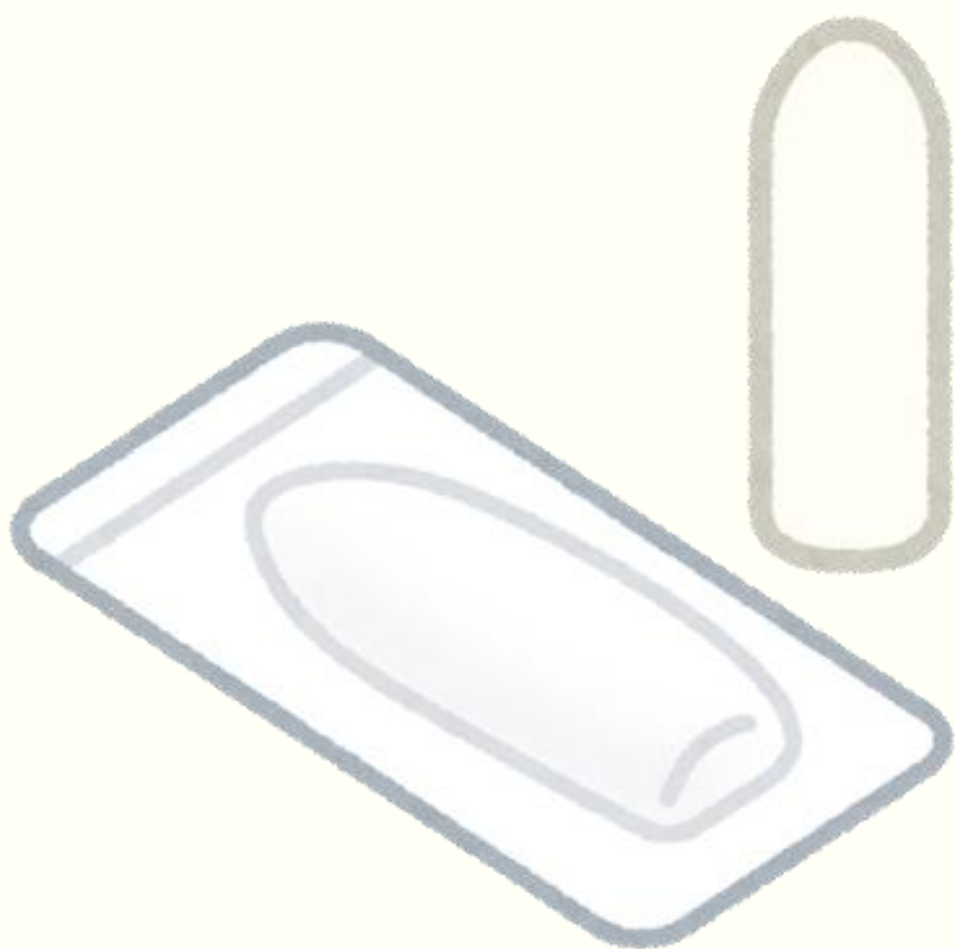
# やく お薬立ちmemo



坐薬を正しく使って、より効果的に  
～知っておきたい特徴と使用のポイント～

「坐薬」と聞くと、「使うのが難しそう」「できれば飲み薬の方がいい」と感じる方も少なくありません。

しかし、坐薬には飲み薬にはないメリットがあり、正しく使うことで十分な効果が期待できます。



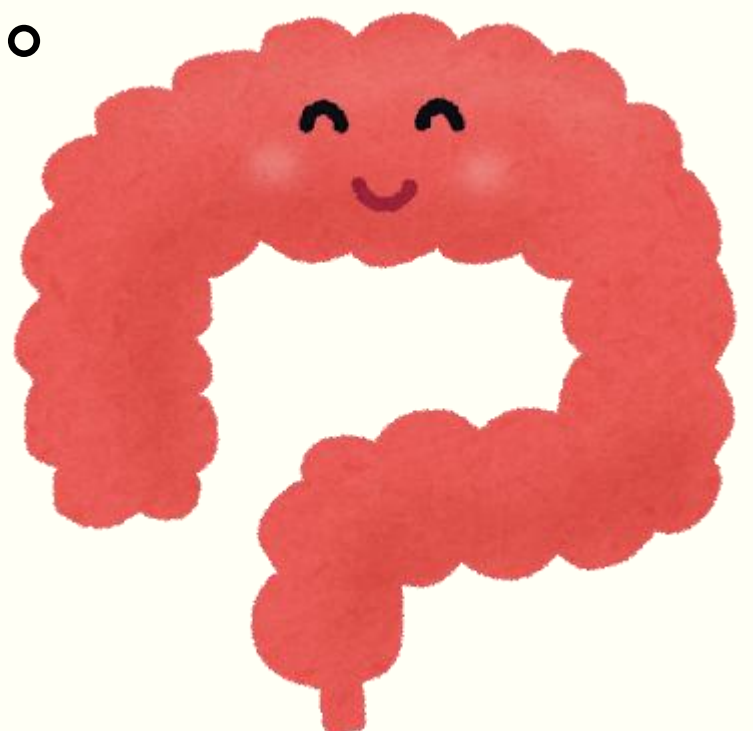
# やく お薬立ちmemo



坐薬は、肛門から挿入して使用する薬です。

体温によって基剤と呼ばれる薬の土台が溶けることで有効成分が放出され、直腸から吸収されます。

直腸は血流が豊富なため、比較的速やかに効果が現れると言われています。また、直腸から吸収された薬の一部は肝臓での代謝(初回通過効果)を受けにくいという特徴があり、薬の効果を効率よく発揮することが期待できます。



# やく お薬立ちmemo



坐薬は、発熱や痛みに対する解熱鎮痛薬、吐き気止め、けいれんを抑える薬、便秘治療薬など、さまざまな場面で使用されています。

特に、吐き気や嘔吐があって飲み薬を服用できないときや、小さなお子さん、高齢の方など、内服が難しい場合にも使用できることが大きな利点です。また、胃を通らないため、薬によっては胃への負担を軽減できる場合もあります。



# やく お薬立ちmemo



効果を十分に得るためには、正しい使い方  
方も重要です。

多くの坐薬は熱に弱いため、保管方法  
を確認しましょう。冷蔵保存が必要なもの  
もありますが、すべてが冷蔵保存という  
わけではありません。

添付文書や薬剤師から説明された保管  
方法を守ることが大切です。もし柔らかく  
なってしまった場合は、包装のまましばらく  
冷やすと扱いやすくなります。



# やく お薬立ちmemo



使用する際は、できれば排便後に包装から取り出し、先端の細い方からゆっくりと肛門へ挿入します。

入りにくい場合は、先端を入れ、そのままの状態です少し待つことで坐薬が溶け、それが潤滑油のような働きをして入りやすくなります。挿入後は10～15分程度横になって安静にすると、坐薬が出にくくなります。



# やく お薬立ちmemo



「坐薬が出てきてしまった場合はどうすればよいですか」という質問を受けることがあります。

挿入してすぐに薬がほとんどそのまま出てしまった場合は、十分に吸収されていない可能性があります。

一方で、時間が経ってから白い基剤だけが出てくる場合がありますが、有効成分はすでに吸収されていることも少なくありません。自己判断で追加使用すると、薬が効きすぎる原因になることもあるため、迷った場合は医師や薬剤師へ相談してください。

# やく お薬立ちmemo



坐薬は「飲み薬の代わり」ではなく、その特徴を生かして選択される大切な剤形です。正しい知識を持って使用することで、薬の効果を十分に引き出し、安全に治療を続けることができます。

使用方法や保管方法など、不安や疑問がありましたら、お気軽に薬剤師へご相談ください。薬を安心して使用していただけるよう、お手伝いさせていただきます。

